

第166回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年1月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,753	-0.87	0.02	4,063	0.66	0.19
東部地区	14,395	0.22	-0.12	5,640	0.37	-0.21
西部地区	10,773	-0.84	0.00	4,011	-0.29	0.12
駅南地区	6,337	-1.50	-0.11	2,669	-0.89	0.00
半田地区	3,631	0.80	0.11	1,359	1.64	0.14
横山地区	5,691	0.33	-0.33	1,873	1.35	-0.37
茨目・田尻地区	7,000	0.35	-0.02	2,344	0.77	0.12
荒浜地区	5,108	-1.10	-0.17	1,998	-0.39	-0.10
その他地区	20,932	-1.34	-0.01	7,174	0.11	0.06
西山町地区	6,317	-1.29	0.20	2,133	-0.28	0.23
高柳町地区	1,952	-1.86	-0.05	848	0.95	-0.11
柏崎市計	91,889	-0.68	-0.04	34,112	0.23	0.01
刈羽村	4,902	-0.98	-0.24	1,544	0.32	-0.25
小国地区（長岡市）	6,411	-1.53	-0.12	2,148	-0.46	0.00
出雲崎町	5,193	-2.16	-0.23	1,812	-0.71	0.00
合計	108,395	-0.82	-0.06	39,616	0.15	0.00

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で633人、0.68％、刈羽村で49人、0.98％、小国地区（長岡市）で100人、1.53％、出雲崎町で115人、2.16％とそれぞれ減少し、全体では897人、0.82％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で39人、0.04％、刈羽村で12人、0.24％、小国地区で8人、0.12％、出雲崎町で12人、0.23％と減少したことから、全体では71人、0.06％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で10世帯、0.46％、出雲崎町で13世帯、0.71％と減少したものの、柏崎市で79世帯、0.23％、刈羽村で5世帯、0.32％と増加したことから、全体では61世帯、0.15％の増加となった。

また、前月比においても、刈羽村で4世帯、0.25％と減少したが、柏崎市で6世帯、0.01％と増加した結果、全体では2世帯、0.00％と僅かに増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	491		-43.17		0.40	
月間有効求職者	1,544		5.97		-2.03	
月間有効求人倍率	0.32	0.35	-0.27*	-0.15*	0.01*	0.00*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が491人と前年同月比で373人、43.17％の大幅な減少となったものの、前月比では2人、0.40％と僅かではあるが増加している。

一方、月間有効求職者数は1,544人と前年同月比で87人、5.97％の増加となったが、前月比では32人、2.03％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.32倍と前年同月比では0.27ポイントと大幅に下回ったが、前月比では0.01ポイント改善している。なお、県平均0.35倍と比べて0.03ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が187人と前年同月比で108人、36.61％の大幅な減少、一方、月間新規求職者数も369人と前年同月比で220人、37.35％と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は0.51倍となり、前年同月の0.50倍に比べて0.01ポイントと僅かに上回った。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年1月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	15	-20	-7	343	-440
共 同 住 宅	0	-1	-1	9	3
事 務 所	1	1	0	9	1
作 業 所・工 場	0	0	0	2	-15
営 業 建 物	1	1	-1	21	-5
公 共 建 物	0	0	0	2	1
そ の 他	4	0	-4	87	-19
合 計	21	-19	-13	473	-474

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が21件と前年同月比で19件の減少、前月比でも13件の減少となっている。工種別における主な増減については、一般住宅（併用）が前年同月比で20件の減少、前月比でも7件の減少となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が9件、増築が8件、改築が4件となった。また、一般住宅（併用）15件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が10件（うち新築4件、増築3件、改築3件）、市外施工業者が5件（うち新築4件、改築1件）となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,963	-0.89	-0.20	29,550	5.82	32.59
電 力	11,190	-3.04	-0.21	40,327	10.27	4.72

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で587口、0.89%の減少、前月比でも132口、0.20%と減少している。一方、電力においても前年同月比で352口、3.04%の減少、前月比でも24口、0.21%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で1,627kwh、5.82%の増加、前月比でも7,264kwh、32.59%と大幅に増加している。一方、電力においても、前年同月比で3,759kwh、10.27%の増加、前月比でも1,821kwh、4.72%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,751,727	0.90	32.94	682,069	-0.60	1.59
営 業 用	325,255	2.40	34.40	111,653	-1.16	-2.64
工 場 用	775,457	23.86	19.78	135,219	16.93	-12.76
官 公 学 校 用	749,378	1.82	43.89	74,911	-5.49	2.19
そ の 他				172	138.88	290.90
合 計	3,601,817	5.45	32.04	1,004,024	0.99	-1.02

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で186,317m³、5.45%の増加、前月比でも873,997m³、32.04%と大幅に増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比ともにすべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で9,843m³、0.99%の増加となったものの、前月比では10,372m³、1.02%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用が大幅に増加、反面、前月比では工場用が大幅に減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	74,596	5.92	-8.04	76,602	3.03	-9.25
西 山	33,820	-19.38	-16.92	30,495	-21.07	-16.09
米 山	14,540	-18.88	-12.96	13,203	-22.83	-18.14
合 計	122,956	-5.63	-11.24	120,300	-7.53	-12.11

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では、前年同月比で7,343台、5.63%の減少、前月比でも15,581台、11.24%と減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で9,799台、7.53%の減少、前月比でも16,585台、12.11%の減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比では西山・米山インターで入口・出口ともに大幅な減少、前月比ではすべてのインターの入口・出口において大幅に減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	359,974	2.66	-0.96	150,908	-1.35	-1.07
平 残	358,711	2.82	0.45	149,342	-0.08	-0.31

預金は、末残が前年同月比で9,331百万円、2.66%の増加となったものの、前月比では3,521百万円、0.96%と減少している。平残は、前年同月比で9,860百万円、2.82%の増加、前月比でも1,631百万円、0.45%と増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,069百万円、1.35%の減少、前月比でも1,638百万円、1.07%と減少している。また、平残においても前年同月比で134百万円、0.08%の減少、前月比でも465百万円、0.31%の減少となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	28,904	495.71	-8.32
交 換 金 額	19,903	355.56	15.44
不 渡 り 手 形 枚 数	16	220.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	19	621.01	-10.27

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は、平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については、平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で24,052枚、495.71%の増加となったものの、前月比では2,626枚、8.32%と減少している。また、交換金額は、前年同月比で15,534百万円、355.56%の増加、前月比でも2,662百万円、15.44%の増加となっている。なお、不渡手形は16枚、19百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産6件（前年同月6件、前月4件）、負債総額19億円（同25億円、同12億円）となっている。地区別では、下越地区で3件（新潟市2件、佐渡市1件）、中越地区で3件（長岡市1件、南魚沼市1件、加茂市1件）発生し、上越地区では発生していない。業種別は、建設業2件、製造業1件、販売業2件、運送・通信業1件となっており、倒産原因については、発生した6件すべてが販売不振となっている。

当月の企業倒産は6件、負債総額で19億円と、前年同月比では件数は同数、負債総額では6億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。企業における企業収益及び景況感の低下傾向となっている。個人消費は、一部に明るさがみられるものの、目立った回復には至っていない。また、雇用面は引き続き厳しく、今後、更に悪化していくおそれもある。